資料3

高知県　地域コーディネーター候補　研修等報告

土佐清水市再生可能エネルギー協議会　理事　　橋本　敏男

環境省事業の支援事業者が主催する再エネ事業に関する研修会及び見学会に参加して

・再生可能エネルギーを地域で推進していくためのノウハウや技術などをより具体的に研修出来たことは、非常に有意義でありました。
又、見学会における様々な事例の視察研修については、木質バイオマスやソーラーシェアリングなどを現地で体感できたことは、今後の再エネ推進に大きく役立つものであると思います。

今後、地域で活動していくにあたっての課題等について

・再エネ事業を推進していくための大きな課題は、何と言っても時間と資金の調達であります。
FIT制度プレミアム期間は1年数か月となっており、再エネ事業におけるプレイヤーとなるべく組織や人的な発掘についても時間との勝負となっています。
その限られた時間内で再エネ事業の理解やコンセンサスを得なければならず、具体的に進めて行くためには、資金リスクとどのように向き合うのか、だれがそれを担うのかを調整する必要があります。

その他

・土佐清水市再生可能エネルギー協議会では、公共の屋根借り事業を具体化するための動きをしており、21日には、その事業のシュミレーションの発表をするつもりです。

高知県　地域コーディネーター候補　研修等報告

NPO法人環境の杜こうち　　中村　将大

環境省事業の支援事業者が主催する再エネ事業に関する研修会及び見学会に参加して

・各県の取り組みを聞いて、地域ごとにそれぞれ課題がある事を再確認
・バイオマスボイラーについての課題点や有効な利用法を学んだ
・各県の事業者との情報交換や、交流が深めパイプができた事は今後プラスになると思う。

今後、地域で活動していくにあたっての課題等について

・研修で学んだ事を高知県に当てはめて、地域に合った活用法を見出す。
・再エネを導入するにあたってのリスクを低くする事や、いかにリスク分散するか。
・地域の理解を得られるような、具体的な提案
・再エネ導入時のコストや、ランニングコストの捻出法

その他

・今年度から研修に参加し、活動実績もほとんどありませんが、日頃より温暖化防止活動の仕事をしているので、今後地域の活性化を図りながら温暖化防止にも繋げていきたい。